

仏教保育専攻

特別な支援を要する子どもの理解と支援 II

担当教員	南川 聡美	単位	1単位	開講期間	秋学期
成績評価の基準	定期試験50%、レポート30%、平常点20%				
教科書	プリントを配布します				
参考文献	『幼稚園教育要領解説』(文部科学省、フレハール館、2018)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレハール館、2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省、フレハール館、2018)				
授業方法	講義・演習				

授業の概要・ねらい・到達目標・授業計画・注意事項など

(授業の概要)障害のある幼児などへの指導にあたっては、個々の発達や特性を理解し、個々に応じた対応や支援等が必要である。保育という生活の中で、子どもの個々の状態や発達に配慮しつつ、学びや生活を保障していくことを学ぶ。また、一人ひとりの子どもの障害の状態や発達の段階に応じた指導や支援について学ぶ。

(ねらい)

障害のある幼児などへの指導にあたっては、個々の発達や特性に配慮しつつ、生活に必要なスキルや適切な行動、学習を保障していくことを学ぶ。また、個々の状態や発達の段階に応じた指導や支援について学ぶ。

(到達目標)個々の特性や心身の発達などに応じた支援や配慮について理解する。

[授業計画]

1.	障害児保育の歴史の変遷
2.	障害のある子どもへの合理的配慮の理解
3.	知的発達障がいのある子どもへの支援
4.	自閉症スペクトラム障がいのある子どもへの支援
5.	AD/HDのある子どもへの支援
6.	吃音やチックのある子どもへの理解と援助
7.	障がいのある人や子どもとのかかわりの準備(指導案作成・あそびの準備)
8.	障がいのある人や子どもとのかかわり①(障害のある人と実際にかかわることで理解を深める)
9.	障がいのある人や子どもとのかかわり②(障害のある人への援助の方法をより深く理解する)
10.	個別の指導計画及び個別の教育支援計画の意義と方法
11.	就学への準備、教育機関との連携
12.	保護者や家族に対する理解と支援
13.	障がいのある子どもへの支援とその方法
14.	障がいのある子どもへの支援と実際
15.	まとめ

[備考・注意事項等]

備考:この科目は実務経験のある教員等による授業科目である。